

いぶりの保健医療

胆振の概況 2025

1 地域医療体制

- 道民の死因の大きな部分を占め、疾病の経過の中で複数の医療機関により医療が提供されることの多い「がん」「脳卒中」「心筋梗塞等の心血管疾患」「糖尿病」「精神疾患」の5疾病と、地域医療を確保する上において重要な「救急医療」「災害医療」「へき地医療」「周産期医療」「小児医療」「新興感染症発生・まん延時における医療」の6事業及び「在宅医療」について、第二次医療圏ごとに「北海道医療計画地域推進方針」を令和6年度に策定し、地域の実情に応じた医療提供体制の構築と円滑な推進に向けて取り組みを進めています。
- また、いわゆる団塊の世代が75歳以上となる令和7年（2025年）に向けて、医療のあり方の変化や地域ごとに異なる人口構造の変化等に対応し、患者の状態に応じて適切な医療・介護を適切な場所で受けられる体制を整備し、バランスのとれた医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築を進めていく必要があります。この目的を実現するため、「北海道医療計画」の一部として策定された「地域医療構想」（平成28年度）では、構想区域単位で高度急性期、急性期、回復期・慢性期の病床機能ごとの必要量を定めるとともに、病床機能の分化と連携の推進、在宅医療の充実、さらに医療・介護従事者の確保・養成など今後の施策の方向性を示し、この実現に向けて取り組みを進めています。
- 社会環境やライフスタイルの変化に伴う住民ニーズの多様化などにより、保健医療福祉を取り巻く環境は著しく変化しています。精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、支援関係者などとの重層的な連携による支援体制の構築を目指し取り組みを進めています。

◎病院・診療所の数及び病床数

令和7年3月31日現在

第二次 保健医療福祉圏	第一次 保健医療福祉圏	病 院		診 療 所		歯科診 療所数
		数	病 床 数	数	病 床 数	
西胆振保健医療福祉圏	3市3町	21	4,460	103	67	77
東胆振保健医療福祉圏	1市4町	15	2,469	97	225	91
胆振管内	4市7町	36	6,929	200	292	168
全 道		531	88,851	3,541	4,925	2,753
胆振の全道比率 (%)		6.7	7.8	5.6	5.9	6.1

※全道の数値は、令和6年10月1日現在。このため全道比率は参考数値。（出典：保健福祉部調査）

◎医療機関の指定状況

令和7年3月31日現在

区 分	地域セン ター病院	へき地医 療拠点病 院	二次救急 輪番制参 加病院	小児救急 医療支援 事業参加 病院	小児地域 医療セン ター	小児地域 支援病院	災害拠点 病院	地域周産 期母子医 療センタ ー
西胆振保健医療福祉圏	2	1	7	2	1	1	4	1
東胆振保健医療福祉圏	1	0	2	1	1	1	2	2
合 計	3	1	9	3	2	2	6	3

区 分	がん診療 拠点病院	脳卒中急 性期医療	急性心筋 梗塞急性 期医療	在宅療養 支援病院	在宅療養 支援診療 所	新興感染症発 生・まん延時 における医療
西胆振保健医療福祉圏	1	2	1	0	4	41
東胆振保健医療福祉圏	1	2	3	3	6	45
合 計	2	4	4	3	10	86

◎精神科医療体制及び精神障害者状況

令和7年3月31日現在

	精神科				精神科救急医療体制整備事業					認知症患者 医療ワーカー	自立支援医療（人） （その他通院含む）
	病院	許可病床数	指定病床数	診療所	病院	相談	診療	措置	医療保護		
西胆振保健医療福祉圏	7	1,452	50	4	4	68	68	2	17	4	3,372
東胆振保健医療福祉圏	3	693	3	1	3	121	68	0	23	1	3,788
胆振管内 計	10	2,145	53	5	7	189	136	2	40	5	7,160

2 歯科保健医療

- 平成21年6月に制定された「北海道歯・口腔の健康づくり推進条例」に基づき、永久歯のむし歯予防を図るため、市町、教育委員会、歯科医師会等の関係団体と連携を図りながら、管内全ての小学校、中学校、保育所等においてフッ化物洗口を実施されるよう取組を進めています。

◎保育所等におけるフッ化物洗口普及状況

	保育所・幼稚園・認定こども園	
	実施数	全施設数
西胆振保健医療福祉圏	43	43
東胆振保健医療福祉圏	38	49
胆振管内 計	81	92

・実施数：令和7年3月31日現在 ・全施設数：令和7年4月1日現在

3 感染症対策

- 感染症に関する正しい知識の啓発、感染症の流行状況の把握や適切な情報提供のほか、結核、エイズ及び肝炎対策として検診の実施など、感染症発生の予防・まん延防止対策に努めています。

◎感染症の届出件数(結核・新型コロナウイルス感染症を除く)

	一類(7疾病)	二類(5疾病)	三類(5疾病)	四類(43疾病)	五類(22疾病)	五類定点(26疾病)
西胆振保健医療福祉圏	—	—	2	3	27	9
東胆振保健医療福祉圏	—	—	4	9	51	5

・令和6年12月31日現在

(注) 五類定点については、集団として取り扱った件数

◎結核患者の罹患率 (人口10万対)

罹患率	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
北海道	8.5	7.4	7.3	6.5	5.5	5.8
西胆振保健医療福祉圏	8.7	6.1	6.8	5.7	5.9	7.8
東胆振保健医療福祉圏	6.7	3.4	6.8	4.0	4.0	5.5

4 子育て支援

- 少子化が進行する中、だれもが安心して子どもを産み育てることができ、子どもが健やかに成長できる環境を整備するため、母子保健体制の充実、子育て支援体制、保育体制の充実、女性の健康相談等の相談体制の充実、児童虐待防止対策の強化、母子家庭への支援など、保健、福祉サービスの提供に取り組んでいます。

◎出生数、出生率の推移

「北海道保健統計年報」

		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
出生数 (人)	西胆振保健医療福祉圏	1,181	1,117	1,062	1,014	952	879	869	765
	東胆振保健医療福祉圏	1,611	1,519	1,411	1,407	1,318	1,276	1,216	1,061
	胆振管内 計	2,792	2,636	2,503	2,421	2,270	2,155	2,085	1,826
	全道	36,695	35,125	34,040	32,642	31,020	29,523	28,762	26,407
出生率 (人口千対)	西胆振保健医療福祉圏	6.2	6.0	5.8	5.6	5.3	5.0	5.0	4.5
	東胆振保健医療福祉圏	7.6	7.2	6.9	6.8	6.4	6.2	6.0	5.3
	胆振管内 計	7.0	6.6	6.4	6.2	5.9	5.6	5.5	4.9
	全道	6.8	6.6	6.4	6.2	6.0	5.7	5.6	6.6